

ソニー教育財団「ソニー幼児教育支援プログラム」  
全国 111 園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

## 研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催 6月4日(土)幸田町立大草保育園(愛知県)

公開保育・研究発表などを通じ県内外の保育関係者に向けて独自の保育実践を公開

記念講演: 玉川大学大学院 教授 大豆生田 啓友氏

後援: 文部科学省、厚生労働省、幸田町教育委員会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2015年度「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた幸田町立大草保育園(愛知県、園長:春日井奈緒子)で、「最優秀園実践発表会」を開催いたします。

「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育研究を推進したソニー創業者 井深 大の考えを受け継ぎ、2002年から行っている園への教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に3歳から5歳児の保育実践とその方向性を募集し、2015年度は111園よりご応募いただきました。



今回、「最優秀園実践発表会」を行う 幸田町立大草保育園 は、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)ら5氏による審査、現地調査を経て「最優秀園」を受賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育む取り組みや成果について、公開保育、研究発表などを通じて、先生方を中心とする保育関係者のみなさまにご紹介いたします。

### 「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園実践発表会(公開保育・研究発表) 開催概要

#### 幸田町立大草保育園(愛知県額田郡幸田町)

研究主題: 出会いから始まる科学する心 ～子どもの好奇心に寄り添う保育～

開催日時: 2016年6月4日(土)9:00～16:30

会場: **■公開保育**  
幸田町立大草保育園  
額田郡幸田町大字大草字北川後 50  
電話・FAX 0564-62-0213  
**■全体会**  
幸田町立幸田小学校  
額田郡幸田町大字大草字三ツ石 18

時程: 【公開保育】 9:30～11:30  
【研究発表】 12:30～13:15  
【研究協議】 13:30～14:30  
【記念講演】 14:45～16:15

講師: 玉川大学大学院教育学研究科 教授 大豆生田 啓友氏  
演題 「好奇心からはじまる科学する心を育む保育」

参加費: 無料



※ 開催についての詳細は、ホームページに掲載の「二次案内」をご覧ください。直接園にお問い合わせください。

[https://www.admin.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2016\\_okusa\\_02.pdf](https://www.admin.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2016_okusa_02.pdf)

※ 大草保育園の「最優秀園論文」全文はホームページでお読みいただけます。

[http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015\\_pre\\_okusa.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015_pre_okusa.pdf)

## 「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園 論文

幸田町立大草保育園(愛知県額田郡幸田町)

論文テーマ: 「綿の種」出会いから始まる科学する心

論文全文 ([http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015\\_pre\\_okusa.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015_pre_okusa.pdf))

### 【審査委員による講評】

大草保育園は、8年間に亘り「科学する心」を育てることに着実に取り組んできました。その成果を基に、新たな視点「出会い」に注目し、子どもの思いの実現に向けてとことん寄り添う保育を展開しました。5つの事例は、どれも子どもたちの出会いからスタートしています。その出会いを生かし、「見て、触れて、感じて、発見する」ことを友達と共有しながら展開する過程からは、観察力、探究心、表現力、命を大切にしている心など、多くの「科学する心」の育ちが明瞭に読み取れます。

「好奇心を育むために、子どもの思いをしっかり捉え、スピーディーな対応をする」という保育者の姿勢と努力、丁寧な事例の振り返りなどが相まって、園として一つになって「科学する心」を育てていることが伝わってきます。このような取り組みが高く評価されました。(抜粋)

### ■ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集し、その実現のための支援を行っています。全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年約100園のご応募をいただいています。

審査委員長の小泉英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)をはじめとする各界の有識者により、予備審査、中間審査を経て、入選候補園に関しては現地調査も行います。

入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び、毎年『実践事例集』(冊子)を発行。さまざまな実践事例をホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

### ■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>